



2019年度JBSD 基金グラント授与式開催



授与団体 Ann Arbor Dickens 小学校 校長

クラーク
JBSD 基金理事長

在デトロイト日本国
総領事館酒井首席領事

去る12月5日(木)、2019年度JBSD基金グラント授与式を一昨年に続いてノバイにあるSuburban Collection Showplaceで開催しました。2019年の授与団体は、新規6団体を含めて州内の異なる市に所在する54団体となり、前年よりも3団体多い結果となりました。

授与式はクラークJBSD基金理事長の挨拶で始まり、今年もJBSD基金が会員からのご支援によってグラント授与式を実現できたこと、また、相互理解と親善の増大を目的として1992年以来継続してきたグラントの累計額が220万ドルを超えたことが報告されると会場から大きな拍手が沸きあがりました。

加えて、JBSD基金が会員からいただいたご寄付は、州内の高校生、大学生で日本への体験留学プログラムを運営する

JCMU (ミシガン州立大学連合) に対しJBSD基金奨学金として支援をしておりJBSD奨学金を授与されて日本を訪問した学生の累計総数は200人を超えたこと、日米の若者間の友情の架け橋を築くことを通じて50年を超えるミシガン・滋賀の姉妹関係発展に貢献してきたことが紹介されました。

同時に長年に亘って毎年実施してきた地域貢献活動を支えていただいているJBSD会員、支援者への謝意が述べられ、合わせてボランティアとしてJBSD基金活動に貢献をいただいているJBSD基金の役員が紹介されて各位へのお礼が述べられました。

理事長挨拶に続いて、来賓としてご出席をいただいた在デトロイト日本国総領事館の酒井首席領事からもご挨拶をいただきました。

グラントを授与している非営利団体の活動分野はCommunity Enhancement (コミュニティ貢献)、Education & Research (教育・研究)、US-Japan Relation (日米関係)の3つで、2019年は総額で11万3千ドルが授与されました。

各団体からは代表者がJBSD基金へのお礼と共に受賞対象となった活動内容や目的について熱心に紹介をしていました。



JBSD 基金副理事長神保氏と
グラント授与団体のOakland Literacy Council代表



JBSD基金: 地元社会への貢献を通して、当地における日本人コミュニティと地元コミュニティ間の相互理解、友情、信頼関係を深める目的で1992年に設立された。日本人子弟が通う現地校をはじめとする教育機関、日米文化交流に貢献している各種団体に寄付を行いその活動を支援している。設立以来の寄付累計額は昨年のグラントで210万ドルを超えた。

在デトロイト日本国総領事館提供によるトピックスとお知らせ

海外向けグラフィック日本事情発信誌「にぽにか」のご案内 (特集: オリンピックがやって来る!)



外務省では、毎月様々なテーマの特集を設定した海外向けの写真広報誌「にぽにか」※を発行し、日本の魅力を積極的に発信しています。

最新号の「にぽにか」第27号では、「オリンピックがやって来る!」と題し、約半世紀の時を経て東京で2度目の開催となる東京2020オリンピック・パラリン

ピックを取り上げ、新たに採用された競技やオリンピックを支える技術など、2020年のオリンピック・パラリンピックの魅力の一端を紹介していますので、ぜひご覧ください。

※ 日本語で「日本」を表す時の音「にっぽん (nippon)」をもとに名付けられた「にぽにか (niponica)」は、現代日本の社会、文化を広く世界に紹介するカルチャー・マガジンであり、日本語版の他に英語、スペイン語、フランス語、中国語、ロシア語及びアラビア語の全7か国語版で刊行されています。



日本語版: https://web-japan.org/niponica/index_ja.html

英語版: https://web-japan.org/niponica/index_en.html

お知らせ

Facebookで、当館の活動紹介のほか、日本関連情報やミシガン/オハイオ州の耳寄り情報も発信していますので、是非「いいね!」をお願い致します。

Facebookページ ▶ www.facebook.com/cgj.detroit



在留邦人の皆様に有益と思われる情報や各種お知らせをメールでお送りするメールマガジンを配信していますので、是非ご登録ください。

詳細はこちら ▶ www.detroit.us.emb-japan.go.jp/itpr_ja/emagazine.html

旅行や海外出張される場合は、是非「たびレジ」に登録を!!

旅行日程・滞在先・連絡先などを登録すると、滞在先の最新の海外安全情報や緊急事態発生時の連絡メール、また、いざという時の緊急連絡などが受け取れるシステムです。

詳細はこちら ▶ www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg

四半期毎にミシガン州とオハイオ州内の治安情勢を掲載しています。在留邦人の皆様が多く居住する地域における犯罪発生件数や最近の犯罪傾向などを掲載していますので、ご確認をお願い致します。

詳細は当館ホームページ、生活・安全情報内の「海外安全対策情報」をご確認ください。

生活・安全情報 ▶ www.detroit.us.emb-japan.go.jp/itpr_ja/lifesafety.html



260回 リレー随筆

「ゴルフ」と「ジョー」で広がる、
トモダチの輪!!

Kyosha North America, Inc.

たかだ よしひさ
高田 祥久

Nitto Seiko Americaの小山さんからバトンを受け取りました、Kyosha North Americaの高田 祥久と申します。

苗字も名前も、外国の方々には中々覚えてもらえなかったのが、最初の海外赴任国であるインドネシアの時代より、「Joe＝ジョー」というニックネームを自らで付け、その覚えやすさと自身のキャラとが相まって、今やJoe歴が約20年になりました。特にアメリカに来てからは、ニックネーム＝ミドルネームを付けられている方が多いので、日本人の方々の間でもJoeと呼ばれるまでに「ニックネーム」が成長を遂げております。苗字・名前のどこにも「J」がないので、よく聞かれますが、皆さんのご想像の通り、「あしたのジョー」からきております。入社3年目の24歳で初めての海外赴任となったのですが、当時は今よりも熱く、というか、暑苦しく、考えるよりもまず行動をするタイプのゴリゴリの営業マンでした。そのスタンスからジョーのように、燃え尽きるまで戦い抜く「男」の姿勢や想いを込めて付けたニックネームなので、43歳となった今でも、結構気に入っています。(笑)

さて当社のことを少しだけ紹介させてください。漢字では「京写」と書き、前身は「京都写真型」という、京都伝統の捺染染め用のスクリーン型を製造する会社でした。今から52年前、創業者がプリント配線板事業へ舵を切り、現在に至っており、昨年創業から60周年を無事迎えることができ、その名の通り、現在も京都に本社を構えております(かく言う私も生粋の京都人)。皆さんが普段からお使いの電化製品には必ずプリント基板が搭載され



ており、近年では車載用途としても需要が拡大しており、センサーやメーターパネル、ライトと至る所で、プリント基板が使用されております。来るべく高度社会(自動化)のキーとなる電子部品として、当社も開発に力を入れております。

月日が過ぎるのは早いもので、入社して21年の時間が流れ、その内13年が海外勤務になりました。(インドネシア→タイ→メキシコ→アメリカ現在) その土地々での出会いを大きくサポートしてくれたのが「ゴルフ」でした。始めたのは24歳、インドネシア赴任直後のこと、会社のメンバーに半ば強引に連れられて、ラウンドしました(正確にはスコア取れませんでした、200近く打ったと思います...) 当時独身貴族も相まって、ゴルフクラブを揃えるようになり、インドネシア時代は年間100ラウンドはしていたと記憶しています(毎週土日ですね)。念願の100を切ったのもこの頃です。

タイ時代になると、ゴルフは趣味という分野から更に広がりを見せ、「社交の場」と変化しました。東南アジアでは年中ゴルフができるので、様々なゴルフサークルを作り、お客様や友人たちと切磋琢磨しつつも、楽しんでゴルフに興じておりました。このようなゴルフコンペを仕切ることが多くなり、幹事を任されるようになってからは、一気に人脈が増え、仕事だけでなく、より充実した海外生活を送ることができたと思います。今考えると、奥さんはよく耐えていた、とアメリカに来て思う次第です。この場を借りて御礼!!

アメリカ(ミシガン)での生活は丸2年となりました。2回目の冬を耐え忍んでいる最中。職制として、営業所の開設がメインとなっている私にとって、基本社内は1人、最近になってやっと1名採用することができましたが、ミシガンでの1年半以上は1人で業務をこなしてきました。同じような境遇の方は沢山いらっしゃると思いますが、そんな私を助けてくれたのも、ゴルフ＝友人との出会いでした。最初はミシガン会というゴルフ団体を母体する「修行の会」に参加しました。修行の会は夏季期間限定、毎週金曜日の夕方6時から、ハーフ(9ホール)だけ、有志が集まり、ラウンドするという会でしたが、ここでの出会いがミシガン会へとつながり、飛躍的に人脈が増えていきました。先月号の小山さんの記事にもありましたが、2020年度より、「ミシガン会」の副会長に抜擢され、今後はより多くの方と「ゴルフ」を通じて、コミュニケーションを取れるように、普及活動をして参りたいと思っております。

ご一読いただきました皆さん、是非ミシガン会で一緒にプレーできることを切望しております!! 先月号に引き続きWebサイトです。

ミシガン会: www.michigan-kai.com

次号は同じミシガン会役員メンバー、そして娘同士が大の親友でもある、Dai-Ichi Seiko Americaの尾城さんにバトンを託します。

JBSD イベント報告

JBSD商工部会・BDO USA LLP 会計事務所共催

ビジネスセミナー開催

去る12月13日、JBSD商工部会・BDO USA LLP 会計事務所によるビジネスセミナーが、Farmington Hill の Courtyard by Marriott において開催された。講演は2部にわたり、企業にとって重要な最新のテーマが、同会計事務所の各分野の専門家により重要な要点が詳しく解説された。講演テーマならびに講師は次の通り。

第1部: 新収益基準の適用による税務への影響

Impact on Tax Provision / Return Based on ASC 606 New Revenue Recognition

講師: Tony Yaoita – Audit Director (日本語・英語両方による解説)

1. 米国における税務上の収益認識基準
Revenue Recognition Under US Tax Regulation
2. 会計上の新収益認識基準が及ぼす税務への影響
Impact on Tax Provision / Return Based on ASC 606 New Revenue Recognition
3. 会計上の新収益認識基準のおさらい
New Revenue Recognition (ASC 660)
– 適用時期: Effective Date
– コア原則: Core Principle
4. 繰延税金資産・負債が認識されるケース
Deferred Tax Assets / Liabilities Are Recognized
– 取引価格の算定: Transaction Price
– 契約コスト: Contract Cost
5. 税務に影響があるケース (総額表示か純額表示か)
Impact On Tax Provision/Return (Principal vs. Agent)

第2部: 関税と移転価格の交錯及び関連会社取引への影響

U.S. Tariffs and Transfer Pricing: How It Impacts Related Party Transactions Customs and Transfer Pricing

講師: Travis Fournier – Manager, Customs and International Trade Services (英語解説)
Naoyoshi Kawaguchi – Senior Manager, Core Tax Service (日本語補足解説)

1. U.S. Customs Overview 米国の関税システムについて
2. “Reasonable Care” Standard 「リーゾナブル ケア」基準とは
3. Section 592 Penalties 592条ペナルティー
4. “Customs Valuation and Methods” 関税評価額と評価方法
5. Customs Valuation and Transfer Pricing 関税評価と移転価格
– IRS vs. CBP それぞれの移転価格の考え方、着目点
– Reconciliation (調停) プログラムについて
– IRC 1059A 条と様式 5472 の注意点
6. Trump N’ Trade-Section 301 & 232 Update トランプ政権と貿易 – 302 条と 201 条アップデート



▶ 1 ページからの続き

2019 JBSD Foundation Grant Award Awardees

US-Japan Relations

- Hikone Ann Arbor Student Exchange Program
- International Institute of Metropolitan Detroit / City of Detroit
- Japanese American Citizens League (JACL) Detroit Chapter
- Japan Center for Michigan Universities (JCMU)
- Japanese School of Detroit / Detroit Ringokai
- Japanese Teachers Association of Michigan (JTAM)
- Lenawee County Education Foundation – Japanese Exchange Program
- Michigan Friday Japanese Scholars Forum
- Monroe International Friendship Association
- Regents of the U of M – Quiz Ball
- Wayandotte Woodrow Wilson Middle School
- Clinton Township – Yasu Cultural Exchange Program

Education & Research

- Ann Arbor Public School Dist. – Bach Elementary School
- Ann Arbor Public School Dist. – Clague Middle School
- Ann Arbor Public School Dist. – Dicken Elementary School
- Ann Arbor Public School Dist. – Logan Elementary School
- Ann Arbor Public School Dist. – Lakewood Elementary School
- Ann Arbor Public School Dist. – Lawton Elementary School
- Clarkston High School
- College for Creative Studies
- Detroit Kendo Corporation
- Foreign Language Immersion and Cultural Studies School (FLICS)
- Eastern Michigan University
- Farmington Public School District – Bilingual Dept.
- Hinoki Foundation
- Novi Community School District
- Oakland Literacy Council
- The Regents of the Univ. of Michigan (Family Health System)
- Utica Community Schools (Utica Academy for International Studies)
- Walled Lake Consolidated Schools
- West Bloomfield School District – Adult Education
- West Bloomfield School District
- Walled Lake City Library
- Western Michigan Univ., Michitoshi Soga Japan Center

Community Enhancement

- Alternatives For Girls
- Birmingham Bloomfield Art Center
- Council of Asian Pacific Americans (CAPA)
- Detroit Historical Society
- Detroit Symphony Orchestra, Inc.
- Eastern Michigan University Foundation – Japanese Section
- Ennis Center for Children, Inc.
- Great Lakes JET Alumni Association
- Ikebana International Detroit Chapter 85
- International Neighbors
- Japan Center for Michigan Universities (JCMU)
- Japanese Cultural Center & Tea House
- U of M Japan Student Association
- Mosaic Youth Theatre of Detroit
- Pebble Creek Chamber Orchestra
- Puppet/ART Detroit Puppet Theater
- U of M Center for Japanese Studies (CJS)
- West Bloomfield Twp. Public Library

本セミナーに関する
お問い合わせ先:

Naoyoshi Kawaguchi | Senior Manager, Core Tax Service
Tel: 248-688-3363 (Direct) | Email: nkawaguchi@bdo.com

JBSD イベント報告

青年委員会主催

2019 Michigan Brewery Bus Tour開催！

去る11月24日(日)、毎年恒例となりましたMichigan Brewery Bus Tourを開催致しました。今年は1日で3カ所ものブリュワリーを巡るツアーにしたこともあり、より多くの種類と量のビールを楽しんでいただきました。皆様ご存じのFoundersから、M-43で有名なOld Nation、あまりこのあたりではお目にかか

れないBrewery Vivantでは店内が教会を模したインテリアとなっておりほろ酔い気分の中、珍しい雰囲気も楽しんでいただけました。

また、各Breweryでは限定のお土産購入やお土産用のビールも購入された方もおりご自宅でも楽しめたかと思えます。道中のバス内ではお酒もまわり楽しく会話されていた皆様も帰りのバス内では皆さんぐっすりお休みになっておりました。

来年も青年委員会では様々なイベントを企画しますので皆様のご参加をお待ちしております。

(青年委員会: 井上・伊井・徳川・牟田・西川原・谷川)



スポーツ部会主催

2019 NBA デトロイト・ピストンズ戦 観戦記

去る12月16日(月)、JBSDスポーツ部会主催の「デトロイト・ピストンズ観戦バスツアー」を実施しました。例年アイスホッケーのレッドウィングス観戦ツアーを実施しておりましたが、今回は日本でも人気急上昇中の八村塁選手が所属するワシントン・ウィザーズがここLittle Caesars Arenaにやって来るということで、NBA観戦ツアーに切り替え、多くの方々にご応募いただきました。

試合は、八村選手がスタメン出場で序盤からダンクシュートを決めるなど大活躍。しかし2ndクォーター終盤に足の付け根を負傷し、残念ながらそれ以降の出場はありませんでした。中盤から地元ピストンズがRose選手を中心に怒涛の追い上げを見せ、会場のボルテージは最高潮に。しかし終盤、ウィザーズの的確なシュートの前に再度突き放された結果、133対119でウィザーズの勝利で終わりました。

日本でも2016年からBリーグが開幕するなど、バスケの注目度が上がっていますので、まだNBAを観戦されたことが無い方もLittle Caesars Arenaへ足を運ばれてみてはいかがでしょうか？

(スポーツ部会: 西川原)



ウィザーズの入場の際には、行きのバス中で行われたジャンケン大会の中から勝ち残った25名の参加者が選手との「Hi5」(ハイファイブ)の権利を獲得！
八村選手を間近で応援できました！



JBSD 基金: スカラシップ受賞者からのエッセイ

JBSD 基金のスカラシッププログラム参加者 Cora Large さんよりエッセイが届きました。

One would think that traveling alone in an airport halfway across the world with signs written in another language would be quite stressful, and yes, it definitely was. However, this experience led to my meeting of my beautiful host family, and the beginning of a wonderful adventure that has lasted longer than the 6 weeks I spent at their home. Every single day I am thankful to JBSD and YFU for the out-of-this-world opportunity they bestowed upon me, a 17 year old still trying to find their way in life. Alongside this, I am so thankful to my birth family for supporting me through this journey and all of my other endeavors, as well as my host family for giving me a safe, comfortable, and fun home for 6 weeks. They will always be in my heart and have a place in my family. On June 3rd, 2019, I received an email from YFU with my housing and family details. Apart from the email announcing my acceptance into the program and the amazing scholarship that allowed me to follow through with my dreams, this was the one detail that I was the most excited for. Within the email I was given the names, family roles, and ages of my new family. There were no pictures, and only the description that they loved sports, so apart from knowing I would have parents, 3 brothers all somewhat similar to my age, and a dog named Bell, I was going in fairly blind. These few insights only fueled my excitement, though, and so when it came to me waiting alone in Haneda Airport for a few hours, my head was filled to the brim with thoughts and mixed emotions. I was anxious and nervous (maybe somewhat from not wanting to miss my flight) as well as curious and so, so excited. Upon arriving at Matsuyama Airport, I saw my new mom, dad, and youngest brother, Shouya. Just from seeing them for the

first time I could sense that I was going to be in great hands for the duration of my stay. No one in the family could speak pretty much any English, but through my 4 years of learning at school and a bit of Google translate, we became very good at understanding one another. I was constantly worried that I would do something wrong or be intrusive, but they had never-ending patience for my lack of communication skills and welcomed me into every aspect of their life. Our shared genuine want to be a part of each other's lives and learn from each other made it so we bonded quickly. There were so many moments that I will never forget, but what stuck with me were some of the smaller, more trivial treasures such as going shopping with my parents. My mom called my dad the "shopping leader" because he always knew what he wanted and absolutely loved deals. As we would walk around the grocery store he would teach me all of the different foods and ask if America had each of those things. Another thing that made my family so special was that they were all very family oriented. Whenever we were home, we all would stay in the living room/kitchen area whether we were doing our own things, talking, eating, or playing games. This definitely helped me get to know them a lot more, even if I could only understand about 30 to 40 percent of what was going on around me. One thing that really made the bonding process go a lot faster was games. Most nights we would play games together as a family, including some of their friends that would come over sometimes. A family favorite was Jenga (they had 3 sets of it!), but we also played Connect4, Kendama toy, ping-pong, basketball, etc.

I was a bit nervous about having three brothers with no sisters at first, but again, upon meeting them, I could feel that I was going to get along with them really well. The oldest brother was named Daiki and he was in his first year at college, so I only got to stay with him for one very fun 4-day weekend. Every so often, he would call home, however, and I would get to talk to him then! He was so kind and a little shy, but after playing soccer and cards with him we had a lot of good laughs together. The next



写真中央がCoraさん

brother was Kouta and he was my age. Our names sounded really similar so sometimes it got a bit confusing as to who was being called, but it also gave way to a lot of little inside jokes. Kouta was my buddy and I was labeled his "English teacher" by the family. He was really goofy and even if I could not understand all of his stories, he still got me to laugh all the time. Once I taught him the basketball shooting game "PIG" and that became one of our favorites throughout my stay. Last but definitely not least, my little brother, Shouya. He was the first brother that I met and even though he was really shy at first, one could tell that he was always paying attention. He was really thoughtful and funny! One of my favorite things to do was to try to get him to laugh, and as we got closer he started to talk a lot more. By the end of my stay we became really good friends. As stated earlier, this family loved sports. I did not realize the extent that this would be true. All of the brothers were known in the area for how good they were at their respective sports, and I was able to see all of them compete which was amazing. Being able to cheer alongside my parents to hope for the best for my brothers reminded me of cheering for my siblings in America and I loved every second of it. I will continue to cheer for them no matter what they end up doing!

This experience has definitely made me realize several things about myself and the type of person I want to be, but my new family left the largest impression on me. The fact that we were able to find similarities, laugh, and cry alongside one another even with the language barrier has taught me that there is so much more that connects us than language. Our culture and experiences in life were vastly different, but regardless I was able to make a relationship with every single person in my family that I will forever cherish. I fully intend to stay in contact with my Japanese family, and I never would have been able to meet such amazing people without the help of JBSD and YFU. From the very bottom of my heart, thank you so much for this opportunity.



※JBSD 基金スカラシッププログラム: JBSD 基金では、JBSD 会員の皆様からのご寄付により毎年JBSD 基金スカラシッププログラムを実施。高校生の交換留学をサポートする国際交流組織YFUを通して日本留学を希望する高校生2名に、毎年スカラシップを授与している。これまで60名を超えるミシガン州の高校生がJBSD 基金を通して日本短期留学を行っている。



イベント情報

Views | 02 | 20

特別イベント

デトロイト・ウィンターブラスト Quicken Loans Winter Blast

Campus Martius Park, Detroit
2月7日(金) - 9日(日)

金: 5:00pm - 9:00pm
土: 11:00am - 9:00pm
日: 11:00am - 7:00pm
料金: 無料

www.winterblast.com

無料アイススケート、巨大滑り台、アイスガーデンに氷の彫刻、スキー・スノーボード体験、音楽、ジップライン、フードトラックなど冬でも存分に屋外で楽しめるイベント。防寒を忘れず!

総領事館主催: スピーチコンテスト Japanese Speech Contest 2020

MSU, Lansing
2月9日(日)

料金: 一般公開無料

デトロイト・ボートショー Detroit Boat Show

TCF Center, Detroit
2月18日(土) - 26日(日)

料金: 大人 \$13

12歳以下無料(大人と同伴にて)

<http://detroitboatshow.net>

フィッシング、クルーズ、ウォータースキー、ウェイクボード用ボートのほか、カヤックなど親しみやすいものまですべて揃う。

デトロイト・オートラマ Detroit AutoRama

TCF Center, Detroit
2月28日(金) - 3月1日(日)

料金: 大人 \$21・6-12歳 \$8
5歳以下無料

<https://autorama.com>

アメリカンホットロッド、カスタム車、トラック、バイクなど、改造車好きにはたまらない、ライブ音楽にチャリティオークションなど盛りだくさんのイベント。特別有名人のゲストもあり!?

ダンスステージ

リバーダンスショー

Riverdance 25th Anniversary Show

Fox Theatre, Detroit
2月21日(金) - 23日(日)

料金: \$16 - \$72

www.313presents.com

映画

2020年アカデミー賞

短編アニメ映画ノミネーション作品

The 2020 Academy Award Nominated Short Films: Anime and Live Action

Detroit Film Theatre, Detroit

1月31日(金) - 2月16日(日)

料金: 一般 \$9.50・シニア \$7.50

www.dia.org/events/2020-academy-award%C2%AE-nominated-short-films-animation-and-live-action

今後の人気イベント

森みゆき プロデュース

ドリームシンガーズリサイタル「やってみよう」

Dream Singers Recital: Let's Try!

3月14日(土) 5:15pm (5:30開演)

場所: North Congregational Church
36520 W. 12 Mile Rd.
Farmington Hills, MI 48331

料金: \$10 (4歳以上)・3歳以下無料
※収益の一部を東日本大震災「ハタチ基金」に寄付

詳細: Miyukids International
dreamsingersoffice@gmail.com

歌手 森みゆき=NHK「おかあさんといっしょ」第15代歌のお姉さんが2007年に発足したドリームシンガーズ第13期生によるパフォーマンスです。みゆき先生もゲストとして出演。アメリカで子育てされている方々も日本の歌をお子さんと思い切り歌って楽しんでください。

演奏予定曲: やってみよう、パプリカ、
気球にのってどこまでも 他

ご存じですか?

デトロイト美術館入館料について

ミシガン州のMacomb, Oakland, Wayne カウンティにお住まいの方は、デトロイト美術館(DIA)入館料が無料です(特別展入場は有料の場合あり)。寒い冬は、デトロイト美術館で世界の名画観賞はいかがでしょうか

美術館ウェブサイト: www.dia.org

日本ギャラリー

JBSD会員の皆様のご寄付もあり、2017年11月に日本美術品を展示するジャパンギャラリーがオープンされました。入場料のみでお楽しみいただけますので、ぜひ足をお運びください。



編集委員の独り言

最近、日系スーパーでも邦人以外の現地の方やさまざまな人種の方を見かけるようになった。特に、アジア系の方が多くなったと感じる。デトロイトに赴任してNoviで2か所のアパートに住んだが2か所とも隣人は礼儀正しい中国人家族だ。同僚の家のあるFarmingtonの一角はどのほとんどの住民がインド人だという。自動車関連の開発要員として優秀なエンジニアを採用しようすると、中国人かインド人しかいないとも聞く。これはデトロイトに限った話ではない。シリコンバレーでは更に中国人、インド人比率が高く、資金力やコミュニケーション力で優位な中国、インドに押され、自動車業界の日系企業は苦戦していると聞く。そして、高コストのシリコンバレーを離れ、開発拠点のデトロイト回帰の流れができつつあると聞く。デトロイトに日本人駐在員が増えることは大歓迎だが、ちょっと寂しい気もする。華僑、印僑、和僑などと昔は言ったが、和僑は日本人の人口減少とともに衰退の一途をたどる運命なのであろうか。 H.U.

デトロイトりんご会補習授業校 講師募集中!



デトロイトりんご会補習授業校では、明るく元気で子供大好き、やる気溢れる講師を募集しています。

詳細は www.jsd.org/teacherwanted をご覧ください。

※QRコード読み取り可能な携帯電話で左記コードを読み取ると
りんご会ウェブサイトへジャンプします





Japan Business Society of Detroit
42400 Grand River Ave.
Suite 202, Novi, MI 48375



今月のトピック

- JBSD基金 グラント授与式報告 1
- リレー随筆:
「ゴルフ」と「ジョー」で広がる、トモダチの輪!! ... 3
- NBA 観戦報告 5
- JBSD基金 スカラシップ受賞者からのエッセイ ... 6

Views views@jbsd.org(編集部)

皆様からのご意見、ご感想をお待ちしていますので
お気軽にお寄せ下さい。投稿も大歓迎です。

<http://jbsd.org> でもViews をご覧いただけます。

当会SNSページもぜひチェックしてください。



www.facebook.com/jbsd-michigan



www.instagram.com/jbsd_michigan

今後のJBSD 行事予定

February^{2月}

スポーツ部会主催

JBSD ボウリング大会

日 時: 2月9日(日)

場 所: Super Bowl Canton

青年委員部会主催

スキーバスツアー

日 時: 2月16日(日)

場 所: Boyne Mountain Resort



お申し込みについてはJBSD事務局ウェブサイト(<http://jbsd.org>)をご確認ください

事務局長だより

1月26日に開催された今年のJBSD新年会で500人を超える方々に楽しんでいただいた矢井田瞳さんのコンサートから1週間が経ちました、冬至から1か月以上が過ぎ今年も2か月目に入りました。ミシガンで春を感じるのはもう少し先のことと思いますが、暦の上では2月3日の節分、4日の立春と春の気配を感じる時期になってきました。JBSDでは今年も多くのイベントを計画していきますが、今の時点での主なイベントを紹介させていただきます。

まず、最初のJBSDファミリーイベントは2月9日(日)に予定しているボウリング大会で毎年140-150名の方々がCantonのSuper Bowlでイベントを楽しんでいます。この後には青年委員会による人気のスキーバスツアーも2月16日に計画されています。また3月1日にはJCD(日本文化紹介)活動の春のイベントとして、「雛祭り」イベントを今年もデトロイト美術館(DIA)において開催予定です。昨年は2日に亘って開催しましたが、DIAによれば2日合計で7,000人以上の来場者がありました。多くの来場者は地元のアメリカ人で日本文化に対する興味と関心の深さが感じられました。このほか今年も年間を通じて多くの会員向けイベントが計画されています。これら全てのイベントは、各部会、委員会の常任委員とボランティアの皆様のご尽力によって実現できています。多くの会員ならびにご家族、友人のご参加によって賑やかなイベントを作り上げていただきたいと思います。

デトロイト美術館・デトロイト総領事館・JBSD(JCD)共催 デトロイト美術館 ひな祭りイベント

ひな人形展示・書道パフォーマンス・和菓子・折紙ワークショップ・琴演奏・日本昔話読み聞かせ・茶の湯・生け花・かぐや姫上映・尺八パフォーマンスなどイベント盛りだくさんです。ぜひ、ご家族ご友人をお誘い合わせのうえお出かけください。

日 時: 3月1日(日) ※プログラムは11:00am開始

場 所: Detroit Institute of Arts

料 金: イベント無料(入館料のみ)

詳 細: <https://jbsd.org>

